



いいね！: fujisawa.yasuhiko、他 15 人

ikusaka_tattoko 6日・・

生坂村は観光庁の「第2のふるさとづくりプロジェクト」モデル実証実験の地として採択されました🎉

生坂村でこの秋、リジェネラティブツーリズムを実施いたします🍁👤

その名は「旅するいきもの大学校！」

第3回 脱炭素先行地域に採択され「ゼロカーボンビレッジ」を掲げる生坂村で、地域の人たちと里山づくりを行うリジェネラティブ・ツーリズム。リジェネラティブ・ツーリズムとは自然や文化を回復させ、より良い姿に再生する新しい観光スタイルです。

オンラインとオフラインで年間6回のプログラムがあり、講師には立教大学スポーツウエルネス学部スポーツウエルネス学科の奇二正彦准教授をお迎えし、自然再生を目指して実際に手を動かしながら里山づくりを行います。プログラムの参加者はプログラム終了後に「村公認の研究員」に認定され、継続的な学びの場が提供されます。

奇二先生が二回目の視察にいらっしゃいました。森を行き来する動物の軌跡を目撃しようと観測用定点カメラを設置しました。

脱炭素先行地域づくり事業だけではなせない地域課題への挑戦はこのように複合的な取り組みによって解決策を模索します。

多くの方と生坂の自然を分かち合いたいと思います。

#生物多様性
#ネイチャーポジティブ

Instagramでは
その他投稿も
ご覧いただけますので、
是非フォロー
よろしくお願いします！

Instagram



WEB



INTERVIEW

「親と子(高開家)」

Q1. 生坂村のどこが好き？

僕たち家族は横浜から移住してきたので、やはりこの圧倒的な自然が好きですね。とても魅力的です。

Q2. 親から子へ、この村で未来に残したいものなどありますか？

自然ですね。日本の四季折々の美しさ、厳しさ、自然と寄り添って、恩恵を受け、人が暮らして行く。という生き方が生坂村は濃く残っていると感じます。とても有り難いなあと感じております。ここの村にあるもの全てに感謝して生きて行く。その想いを子供にも伝えて、子供達も次の世代へ繋げて行って欲しいです！

Q3. 本事業に期待していることは？

質問と少しずれてしまうかもしれませんが、2028年までに行われる脱炭素事業の実施スケジュールの中に、古民家脱炭素リノベーションとの項目を目にしました。僕は横浜で工務店を営み、自分では大工仕事をしていました。なのでココにはとても興味があります。元々ある古民家を再生する。その中に新しい考えやプロジェクトを入れ込む。やりたいし、形になった時を考えると興奮しますね！笑

EDITOR'S NOTE

編集後記

今年はしっかりと降雨があり、梅雨の晴れ間はしっかりと暑い日が続いていますが、畑をやっている身としてはありがたき雨の潤い。事務局では大きな完熟梅を21%の天然塩で漬けています。今年の梅干しは3日間の土用干しではなく佐藤初女さん直伝の10日干しにチャレンジします。

星野 亜紀子
(合同会社 HITTIISOY)

〔発行元〕生坂村 〔編集〕いくさかゼロカーボン事務局
〔電話〕050-3354-7715 〔メール〕info@green-ikusaka.org
〔住所〕生坂村5471-8(旧窪田商店) 〔平日〕9:00~17:00



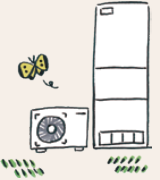
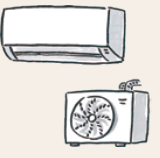
TOPICS

○生坂村の購入補助メニューについて ○蓄電池の特徴の紹介
○Instagram 旅するいきもの大学校！ ○Interview 親と子



生坂村の購入補助メニューについて

令和6年度の省エネ機器・木質バイオマスストーブの購入補助メニューがスタートし、お問合せも増えてきました。国や県が実施している補助と生坂村の補助の内容を比較してみました。ご検討中の方は令和10年度まで使える生坂村の購入補助メニューを是非ご活用ください。

対象機器	生坂村 ※限度額、台数、回数制限なし	国、県の一例 ※限度額、台数、回数制限あり
高効率給湯器 	例 エコキュート（ヒートポンプ給湯機）導入＝工事費込み400,000円の場合 自己負担額 134,000円 補助率 2/3 1台につき266,000円	自己負担額 270,000円 1台につき最大130,000円 給湯省エネ2024事業（資源エネルギー庁）
高効率空調機器 	例 8畳用のエアコンを設置＝工事費込み300,000円の場合 自己負担額 100,000円 補助率 2/3 1台につき200,000円	※リフォーム工事とあわせて設置する場合 自己負担額 274,000円 1台につき最大26,000円 子育てエコホーム支援事業（国土交通省）
高効率照明機器 	例 照明機器をすべて LEDに変更＝工事費込み1,200,000円の場合 自己負担額 400,000円 補助率 2/3 1件につき800,000円	※補助対象：どちらも事業者のみ 補助率：1/3以内 【上限額】1億円/事業全体 【下限額】30万円/事業全体 先進的省エネルギー投資促進支援事業費補助金（経済産業省） 補助率：1/3以内 【限度額】5,000万円/プロジェクト 既存建築物省エネ化推進事業（国土交通省）
太陽集熱器 	例 自宅の空きスペースに太陽集熱器1台を設置＝工事費込み400,000円の場合 自己負担額 100,000円 補助率 3/4 1件につき300,000円	※リフォーム工事とあわせて設置する場合 自己負担額 300,000円 助成単価：100,000円 令和6年度信州健康ゼロエネ住宅助成金（長野県）
木質バイオマスストーブ 	例 自宅に木質ペレットストーブ1台を設置＝工事費込み500,000円の場合 自己負担額 125,000円 補助率 3/4 1件につき375,000円	※リフォーム工事とあわせて設置する場合 自己負担額 400,000円 助成単価：100,000円 令和6年度信州健康ゼロエネ住宅助成金（長野県）

（株）いくさかてらすと契約されたお宅に設置される蓄電池について

蓄電池の特徴を紹介します

Q.蓄電池の使い方は？

A.昼間に太陽光パネルで発電した電気を蓄え、発電できない夜間にその電気を使います。そして翌日、また発電して蓄えます。その繰り返しが基本的な使い方です。

Q.蓄電池の容量はどれくらいですか？

A.いくさかてらす「PPA」17年プラン・いくさかてらす「PPA」10年プランの方は16.6kWh（家庭用としては業界トップクラスの容量）、いくさかてらす「小売」10年プラン（蓄電池のみ設置）の方は7.4kWhの電力量を蓄えられる蓄電池を設置します。

Q.蓄電池はどこに設置されますか？

A.一般的に、直射日光が当たらず、高温多湿になりにくい場所（屋外）に設置します。

Q.16.6kWhの容量（満充電の場合）は停電時にどれくらい使えるの？

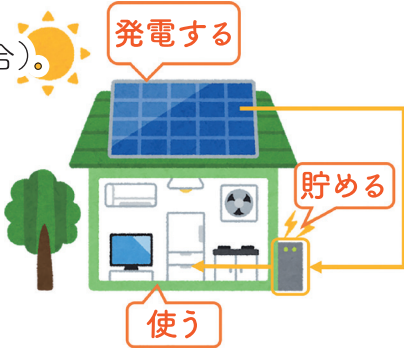
A.電化製品を連続して36時間以上使用できます（下表の使用例による場合）。

Q.蓄電池の大きさは？

A.幅106cm、高さ125cm、奥行き30cmの大きさです（16.6kWhの場合）。

Q.どこで作られた蓄電池？

A.国内に工場を構える日本のメーカーの蓄電池です。



【表】1日の消費電力量（両親と子供2人の4人家族の8月がモデル）の例

電化製品	1日で使用する時間数	消費電力量
冷蔵庫	24時間	1.2kWh
エアコン	21時間（深夜帯の0～3時を除く）	6.3kWh
IH調理器	30分（1回10分×3回）	0.45kWh
テレビ	9時間（朝2～3時間、夜5～6時間）	0.58kWh
照明器具	7時間（朝2時間・夜5時間ほど）	0.28kWh
ルーター	24時間	0.36kWh
スマホ・タブレット	2時間（1回の充電）	0.09kWh

表に記載された時間数で各電化製品を使用すると、1日で合計約9.3kWhの電力を消費します。（蓄電池容量16.6kWhの場合：16.6kWh÷9.3kWh≒1.78日＝36時間以上）

太陽光パネルで発電した電気を蓄電池に貯めることで、災害や停電の際も、日常と同じような電化製品の使用が可能になります。蓄電池があると有事の際に安心なうえ、自宅で発電した再生可能エネルギーを自家消費するという、エコでお得な暮らしに繋がります。